

2018年12月7日  
株式会社インプレスR&D  
<https://nextpublishing.jp/>

プレーンテキストで気楽にテキストを書ける！  
『Markdown ライティング入門』発行  
技術書典シリーズ、12月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『Markdown ライティング入門』(著者: 藤原 惟)を発行いたします。

『Markdownライティング入門』  
<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844398363>



著者: 藤原 惟  
小売希望価格: 電子書籍版 1800 円(税別) / 印刷書籍版 2200 円(税別)  
電子書籍版フォーマット: EPUB3 / Kindle Format8  
印刷書籍版仕様: B5 判 / カラー / 本文 144 ページ  
ISBN: 978-4-8443-9836-3  
発行: インプレス R&D

<< 発行主旨・内容紹介 >>

【プレーンテキストでらくらくライティング！ Markdown を使いこなそう！】

本書は、文章を書く＝ライティングを「気楽に」行うための道具としての「Markdown」形式を紹介し、その使い方を詳しく解説しています。

Word などのワープロソフトに限定されることなく、テキストエディタや Markdown 専用エディタ、ポメラなどの文書入力専用機、さらにはスマートフォン上でも「見出し」や「強調」といった文章執筆に必要な情報を共有するための書式である Markdown の書き方やその定義や起源を、初心者でもわかりやすく紹介しています。

(本書の対象読者)

執筆のストレスを減らして集中したい人

PC が古くて軽いアプリで執筆したい人

いろいろなアプリで原稿を使いまわしたい人

思いついた時にスマホでメモ書きして原稿にまとめた人

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています)

## Markdown の定義をわかりやすく紹介

図2: CommonMark と「ミニマム Markdown」「きほんの Markdown」の関係

Word や Google ドキュメントのように、画面や表示画面にきれいに整え、その内容を見やすくする機能を備った文書作成ソフトをワープロソフトと呼びます。

ワープロソフトは、そのままで印刷として Markdown に対応しません。その代わり、次のような「Markdown との付き合い方」があります。

1. プレーンテキストの Markdown 文書を書く
  - ワープロソフトの形式に実装
    - 画面で詳しく説明します
2. ワープロソフトの上で、ワープロソフトの改行や文字装飾
  - Markdown 文書の実装
    - 装ブラデザイン (本書では対応)
    - Word の場合: `WritingTM`
    - Google ドキュメントの場合: `GDWord.htmlTM`
3. ワープロソフトの上で、プレーンテキストを模した Markdown 文書を書く
  - 第2章コラム「Word で Markdown を書く(1)」を参照

**補注** Markdown を使う必要はないが、Markdown (およびプレーンテキスト) による執筆は、あくまでも「数ある執筆手段の一つ」にすぎません。

※ <http://www.markdown.com/>  
 ※ <https://www.markdownguide.com/authoring/using-a-writer-or-pdf-editor/#writing-markdown>

---

コラム: Markdown で技術書を書きたい方へ

(このコラムは、技術者の方に向けた解説です。専門的な事項を含むので、飛ばして読んで大丈夫ではありません)  
 本書では「Markdown を使って書ける方法」「(印刷用)入稿可能な PDF を作成する方法」について、読者の

11 | 第 1 章 プレーンテキストと Markdown

がら紙版の統合と判別しました。しかし、本書を手にする読者の多くは、この説明を望んでいると思われ、少し補足をしておきます。

技術書人取イベント「技術書共々」において筆者は、本書の売となった理由の技術用語を被訴しました<sup>12)</sup>。技術的には、主に次のような工夫で PDF を作成しました。

- Pandoc (文章変換ツール)
  - > Markdown (Pandoc's Markdown) → LaTeX<sup>13)</sup>
- LaTeXTeX (備忘録ソフト: PDF の生成に利用)
  - > LaTeX → PDF
- Mendeley (参考文献管理: BibTeX 形式で出力し、Pandoc で利用)
  - > Pandoc の機能をつらぬくために、本書の原稿は Pandoc's Markdown という Markdown 方言によって書かれています (第三章で詳しく見ます)。

上記の経緯やノウハウについては、今後筆者が解説書を執筆する予定です。刊行の際は本書の Twitter アカウント (@sky\_writing<sup>14)</sup> にてお知らせするので、フォローをよろしくお願ひします。

最後に本書は、形式設計アプリである Gihyo Publishing の電子書籍プラットフォームによって制作しています。そのため本書は、上記のシステムとは異なる方法で組み立てられていることをご了承ください。

12) 被訴内容は「売上高は、被控訴人 https://twitter.com/skywriting 参照」(2016年9月25日)  
 13) 本書執筆、執筆ツールは LaTeX 2.0.21 参照 (https://www.latex-project.org/latex2/20160925/). (2016年9月25日)  
 14) LaTeX は「ラテックス」または「ラテックス」と読み、(「ラテックス」ではありません)  
 15) <http://www.gihyo.com/shop/>  
 16) 被訴内容は「売上高は、被控訴人 Gihyo Publishing Ltd. 参照」(2016年9月25日) [https://twitter.com/gihyo\\_publishing](https://twitter.com/gihyo_publishing). (2016年9月25日)

## Markdown 専用エディタを使いながら、実際に Markdown でのライティングを体験

ある画面を持っているため、入門にはあまり適しません。しかし書き心地が良く、機能が充実しています。実際に Markdown で執筆する段階では、筆者は Typora をお薦めします。

このように Markdown アプリには利点・短所があり、さまざまな選択があります。iOS・Android アプリにも、Markdown 専用エディタは数多くありますが (第 6 章を参照)、ぜひ自分で「Markdown エディタ」「Markdown アプリ」などで Web 検索して、お気に入りのアプリを探してみてください。

Markdown 専用エディタを使ってみよう

Markdown 専用エディタについてもう少し説明します。

MarkdownPad と MacDown は、非常に似た画面を持っています (図 9)。以下、MarkdownPad を例にして説明します (MacDown の場合も基本的な使い方は同じです)。

MarkdownPad は「左に編集画面 (テキストエディタ)」「右にプレビュー画面 (出力のイメージ)」というレイアウトをもつ Markdown 専用エディタです。 (macOS 向けの MacDown も同じレイアウトを持ちます。本書では MarkdownPad を例にして説明します)

MarkdownPad のインストール手順は付録「アプリのインストール・設定方法」を参照してください。インストール作業が難しい場合は、ブラウザで動く Markdown 専用アプリ「Esd」もご確認ください (章末のコラムを参照)。

図 10: 実際の編集画面に「こんにちは」と打ってみた

どうなりましたか? ……おそらく、右欄にも「こんにちは」と出たはずですが、ただし、少し書体 (フォント) が違っても構いません。

次に「こんにちは」を「`「こんにちは」`」に変えてみてください。「`「`」は半角のハッシュ記号、「`」`」は半角スペースです。書かれたまの画面ですが、「半角」であることも「スペース」であることも Markdown では重要なんです。

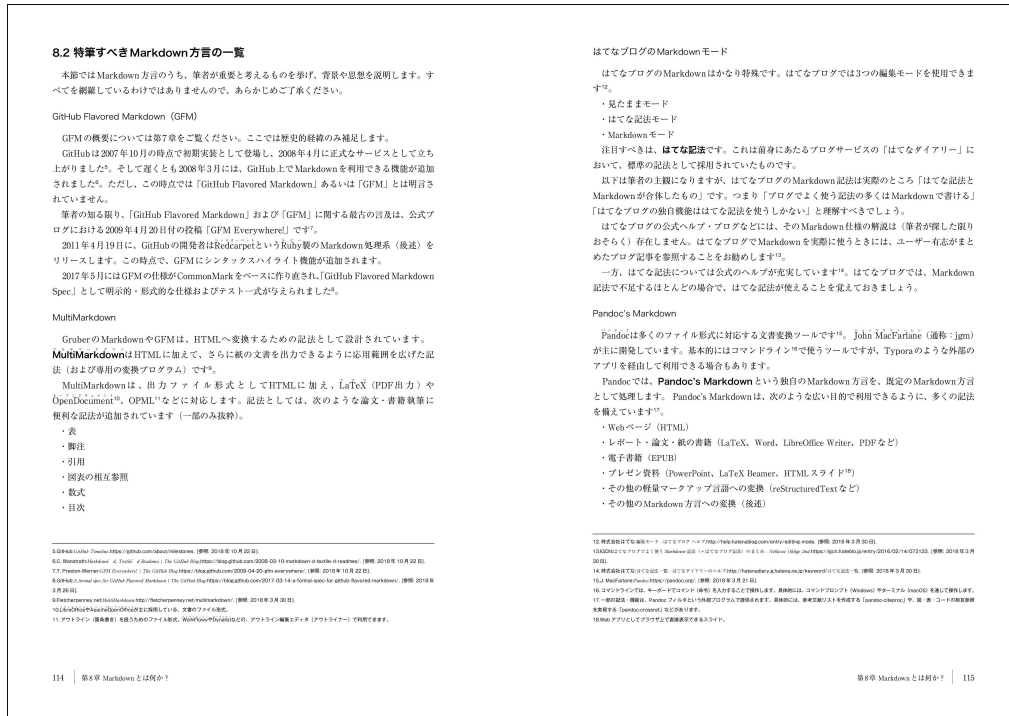
「`「`」」を右欄に付けることで、「この行は見出しである」という書式の指示を Markdown アプリに対して与えることができます。詳しくは第 4 章で説明します。

実際に試してみると、同じ「こんにちは」という文字でも、左欄はほんのり色が付き、右欄は文字が大きい文字になったはず (図 11)。つまり、Markdown アプリがきちんと「この行は見出しである」と認識してくれた、ということです。

12) 11/20/2016年のTwitterのツイートに参照。被控訴人 Gihyo Publishing Ltd. (Gihyo Publishing) は Gihyo Publishing Ltd. の子会社として登録されている企業です。被控訴人 Gihyo Publishing Ltd. は Gihyo Publishing Ltd. の子会社として登録されている企業です。  
 13) 本書執筆の執筆ツールは LaTeX 2.0.21 参照 (https://www.latex-project.org/latex2/20160925/). (2016年9月25日)  
 14) 被訴内容は「売上高は、被控訴人 Gihyo Publishing Ltd. 参照」(2016年9月25日) [https://twitter.com/gihyo\\_publishing](https://twitter.com/gihyo_publishing). (2016年9月25日)

28 | 第 3 章 Markdown で書いてみよう

# 各種の Markdown の方言や Markdown が作られた経緯も詳しく解説



## << 目次 >>

### 第1章 プレーンテキストと Markdown

#### 1.1 プレーンテキストの勧め

#### 1.2 Markdown はプレーンテキストで文章を書くための記法

#### 1.3 Markdown アプリの例

#### 1.4 本書における Markdown の定義

### 第2章 ミニмум Markdown

#### 2.1 Markdown が満たすべき最低限の原則＝ミニмум Markdown

#### 2.2 ミニмум 1: プレーンテキストで書く

#### 2.3 ミニмум 2: 段落は空行で区切る

#### 2.4 ミニмум 3: ファイルの拡張子は「.md」

#### 2.5 ミニмум Markdown のまとめ

### 第3章 Markdown で書いてみよう

#### 3.1 Markdown 専用エディタをインストールしよう

#### 3.2 ミニмум Markdown で書いてみよう

### 第4章 きほんの Markdown

#### 4.1 きほん 1: 太字

#### 4.2 きほん 2: 見出し

#### 4.3 きほん 3: リンク

#### 4.4 きほん 4: 画像

#### 4.5 きほん 5: 引用

#### 4.6 きほん 6: 番号なしリスト (番号のない箇条書き)

#### 4.7 きほん 7: 番号付きリスト (番号のある箇条書き)

#### 4.8 きほん 8: 水平線 (主題分割)

#### 4.9 きほん 9: コード

- 4.10 きほん 10:コードブロック
- 4.11 きほんの Markdown:まとめ
- 第5章 Markdown ライティングを实践しよう
  - 5.1 道具:Typora (Markdown 専用エディタ)
  - 5.2 考え方:2 段階執筆(下書き段階と清書段階)
  - 5.3 はてなブログで Markdown ライティング
  - 5.4 WordPress で Markdown ライティング
- 第6章 Markdown をさらに活用する
  - 6.1 さまざまなツールで書く Markdown
  - 6.2 Markdown 文書からリッチテキストへ
  - 6.3 Markdown と HTML
  - 6.4 Markdown を活用するための小技
- 第7章 GitHub Flavored Markdown (GFM)
  - 7.1 GFM1:表記法
  - 7.2 GFM2:タスクリスト記法
  - 7.3 GFM3:打ち消し線記法
  - 7.4 GFM4:拡張自動リンク記法
  - 7.5 GFM5:絵文字記法
  - 7.6 GFM6:コードブロックの色づけ(シンタックスハイライト)
  - 7.7 注意:GitHub Flavored Markdown Spec にない記法
  - 7.8 GFM:まとめ
- 第8章 Markdown とは何か?
  - 8.1 Markdown の定義
  - 8.2 特筆すべき Markdown 方言の一覧
  - 8.3 Markdown と CommonMark の思想と歴史
- 付録 アプリのインストール・設定方法
  - MarkdownPad (Windows のみ)
  - MacDown (macOS のみ)
  - Typora
  - はてなブログ:Markdown モード
  - WordPress
  - Pandoc

## << 著者紹介 >>

藤原 惟(ふじわら ゆき)

ソラソルファ、日本 Pandoc ユーザ会代表。フリーライター・エンジニア、専門学校講師。1987 年兵庫県生まれ。明石高専時代に、LaTeX によるレポート作成を通じてドキュメンテーションの面白さに目覚める。大阪大学編入後に Markdown と出会い、日常で活用しはじめる。大阪大学大学院在籍中に、当時の日本語圏であまり知られていなかった Pandoc を発掘する。2014 年に Pandoc ユーザーズガイドを日本語版に翻訳。以後、日本 Pandoc ユーザ会として Pandoc と Markdown を広める OSS 活動をしている。2015 年にソラソルファ開業。「IT を必要とする人は、IT 業界の外にいる」という信念を元に、執筆活動・受託開発・専門学校での教育・IT コンサルティングなどを行っている。

Twitter: @skyy\_writing

ブログ(note): <https://note.solarsolfa.net/>

## << 販売ストア >>

#### 電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

#### 印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

#### 【株式会社インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信）は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

#### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

#### 【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp